

令和4年度 さいたま市立栄小学校 グランドデザイン

日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領、さいたま市教育行政方針、市：教育振興基本計画、市：学校教育推進の指針・指導の努力点、市：小学校教育課程編成要領 等



<目指す学校像>

・「愛」があふれる教育の推進
～信頼される学校運営・自律できる児童の育成～

< 未来を拓くさいたま教育 > を推進する

「PLAN THE NEXT 3つのGで日本一の教育都市へ」

Grit やり抜く力で「真の学力」を育成する

Global 「国際社会で活躍できる力」を育成する

Growth 一人ひとりの成長を支え、「生涯学び続ける力」を育成する

ー通いたい・通わせたい・勤務したい学校ー

誠意と創意 そして凡事徹底

< 時を守り、場を清め、礼を正す >

<目指す児童像>

- ・元気いっぱい (健康でたくましい子)
- ・あいさついっぱい (進んでかかわる子)
- ・なかよしいっぱい (思いやりのある子)

学 校 教 育 目 標

健康でたくましい子

進んでかかわる子

思いやりのある子

(1) 教職員一人ひとりが使命感に燃え、教育のプロとして 教育的視点に立った指導や支援の充実に努める。

- 基礎・基本を大切に楽しく分かる授業を行い、確実な学力の向上を図る。
- お互いを思いやり、いじめや不登校のない学校にする。
- 子どもと共に考え、遊び、行動できる学校にする。
- 子どもが、自分の考えを自分の言葉で正しく表現できる学校にする。

(2) 子どもたちから信頼される教職員・学校にするために 教育環境の整備と充実に努める。

- 子どもたち一人ひとりを認め、励まし、大切にする。
- 笑顔でさわやかにあいさつのできる学校にする。
- しっかり清掃をしてきれいな学校にする。
(無言清掃を心がける)
- 施設・設備を計画的に改善し、安全で快適な学校にする。

(3) 家庭や地域との連携を深め、開かれた学校づくりに努める。

- 学校運営協議会を設立し(コミュニティ・スクール実施)、地域とともにある学校を目指す。
- 保護者や地域の人々の願いを学校経営に適切に生かす。
- 地域の教育的環境(人材・施設等)を計画的に教育活動に活用する。

【 本年度の重点 】

- ① 日々の教育活動の充実に努めると共に、児童や教職員の心身の健康や安全、安心に留意し教育活動を計画・推進する。
- ② GIGA スクール構想の充実に努め、1人一台の端末を利用した学習を積極的に行う。教育課程の創意工夫と管理を適切に行うと共に、各教科の基礎基本の習得を図る。また、年間指導計画にしっかり位置づけ、G・S(グローバルスタディ)、特別な教科「道徳」、プログラミング教育、STEAMS教育の充実に努め、保護者や児童の信頼に応える。
- ③ 学校課題研修(算数科)を通して、教師としての資質と指導力の向上を図るとともに、子どもたちに確かな学力を身につけさせる。
- ④ 運動を奨励し、児童の健康増進と体力の維持向上を図る。
- ⑤ 特別支援教育を充実し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導を行う。特別支援学級の円滑な運営を図り、交流教育の創意工夫と活動内容の充実に努める。
- ⑥ 積極的な生徒指導の充実、いじめ問題等に係る対応の充実、「報告、連絡、相談、見届け」体制を徹底する。
- ⑦ 教育相談の充実に努め、いつでも相談でき、共感的かつ受容的な指導が行える体制をつくる。
- ⑧ 食物アレルギーに対する確実な対応や衛生面に留意し、安心・安全な学校給食の提供を図る。
- ⑨ 安全教育の徹底 ア(施設設備の点検と安全管理)イ(不審者対応、危機管理意識の徹底)ウ(警備員、防犯ボランティア、子ども避難所110番の家との協力)エ(通学班の登下校指導、避難訓練の実施、指導の徹底)オ(交通事故ゼロを目指した交通安全教育の充実)



【GIGA スクール構想】



【G.S「英語紙芝居」】



【さくら草の栽培：4年】



【お囃子体験：3年】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対応	スクールサポートネットワーク (SSN) の充実と推進	
学校運営協議会の設立(コミュニティ・スクール実施)	特色ある活動の推進	情報公開と説明責任
創立50周年(令和4年度) 「つなげよう 笑顔いっぱい 栄小」 (記念誌作成・航空写真撮影等)	○ツウキッズチャレンジスクールの実施(放課後・土曜チャレンジ) ○さくら草(錦乃原櫻草)栽培活動、お囃子体験活動 ○読み聞かせ、防犯ボランティア、ひな人形設置等	○毎月学校便り、学年便り等の発行 学校HP ○SSN・民生委員児童委員等の会議実施 ○学校評価と授業参観・学校公開の実施